

Strategic Market Intelligence Report | 2026年5月

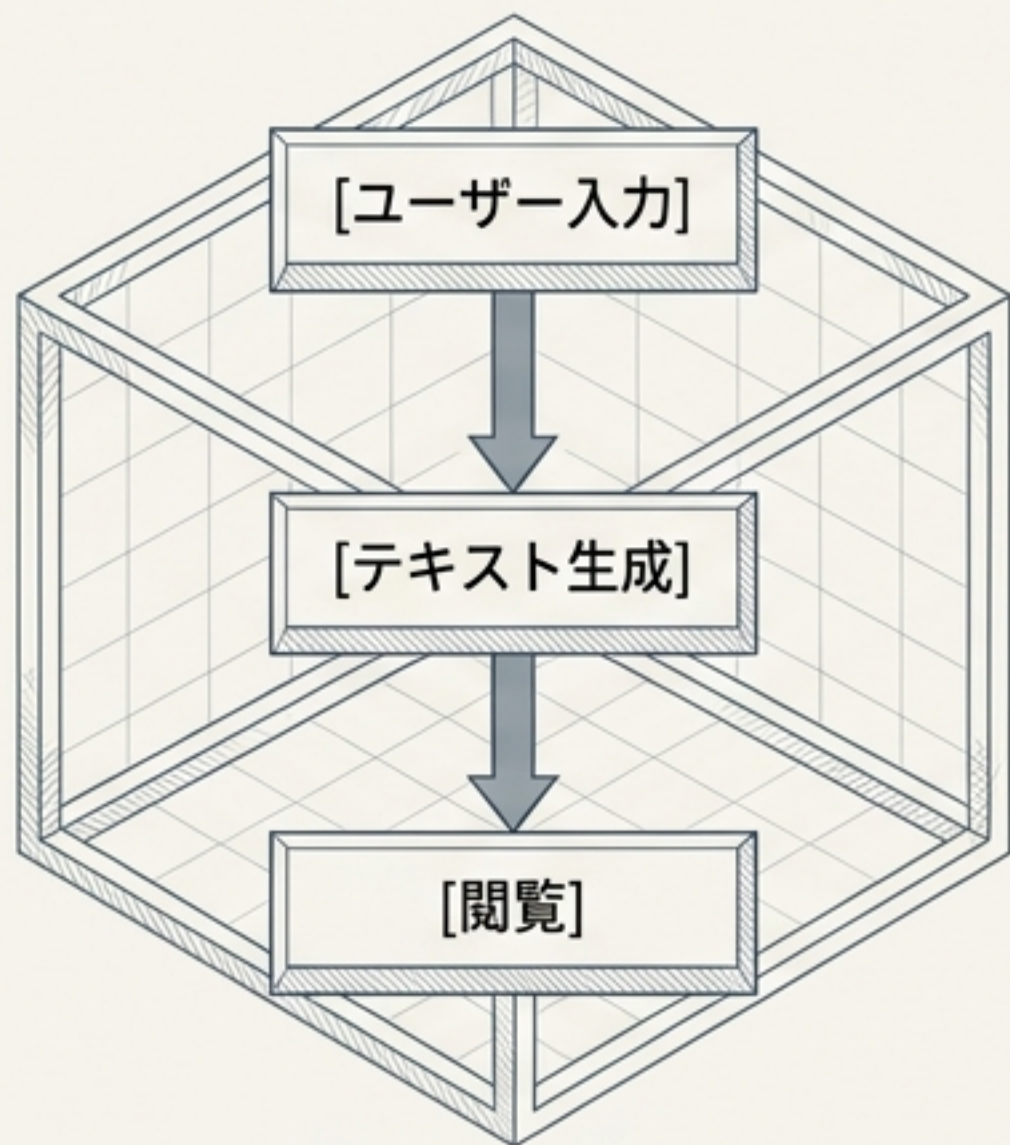
エージェント型 Gemini 時代の幕開けと市場の現実： Google I/O 2026 徹底解剖

技術革新、競合アナリシス、そして「自律型AI」が直面する3つの壁



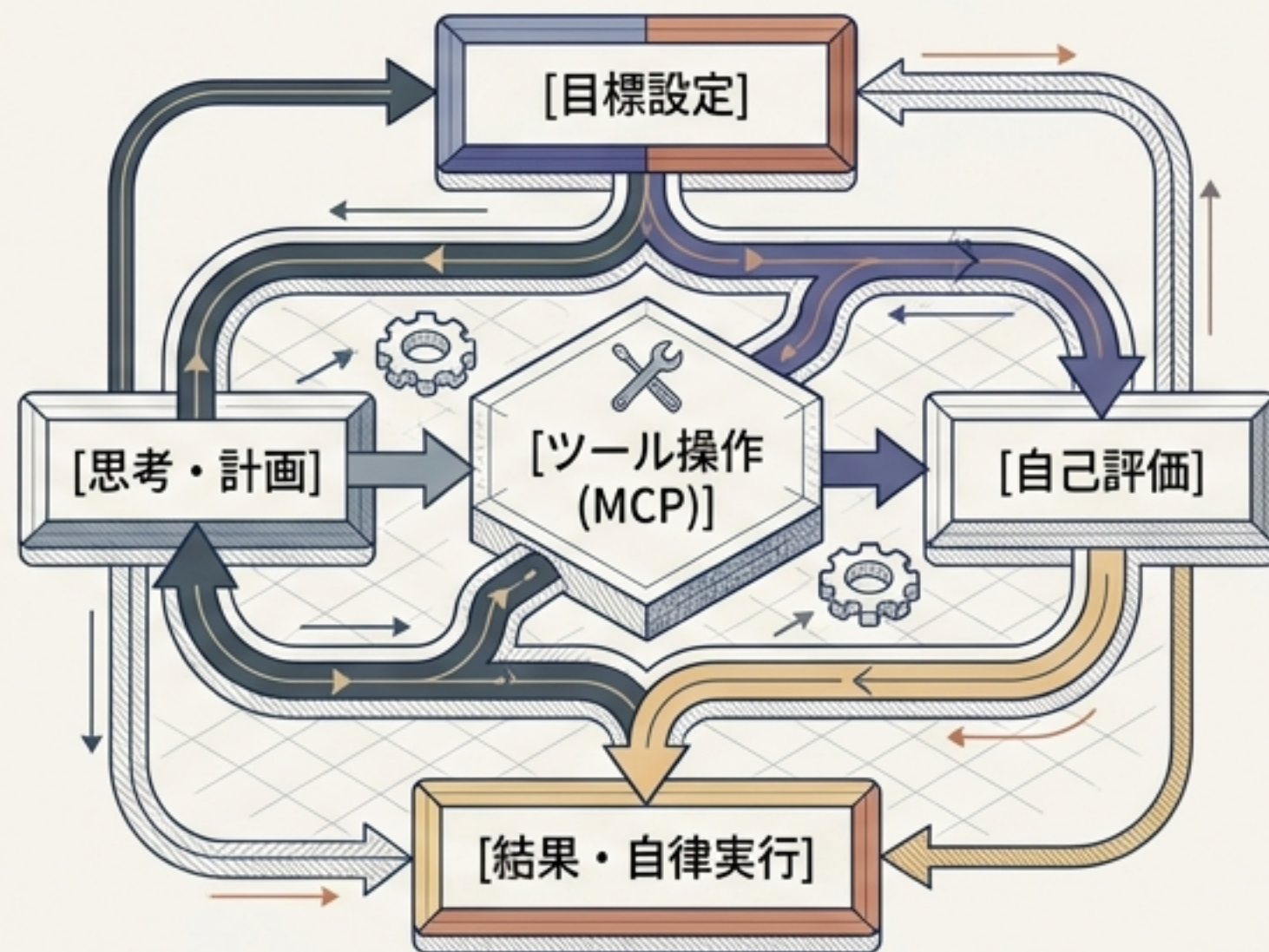
チャットボットから「自律型エージェント」へのパラダイムシフト

過去: プロンプト応答型 (2023-2025)



指示を待ち、ブラウザ内でのみ機能する魔法の杖。

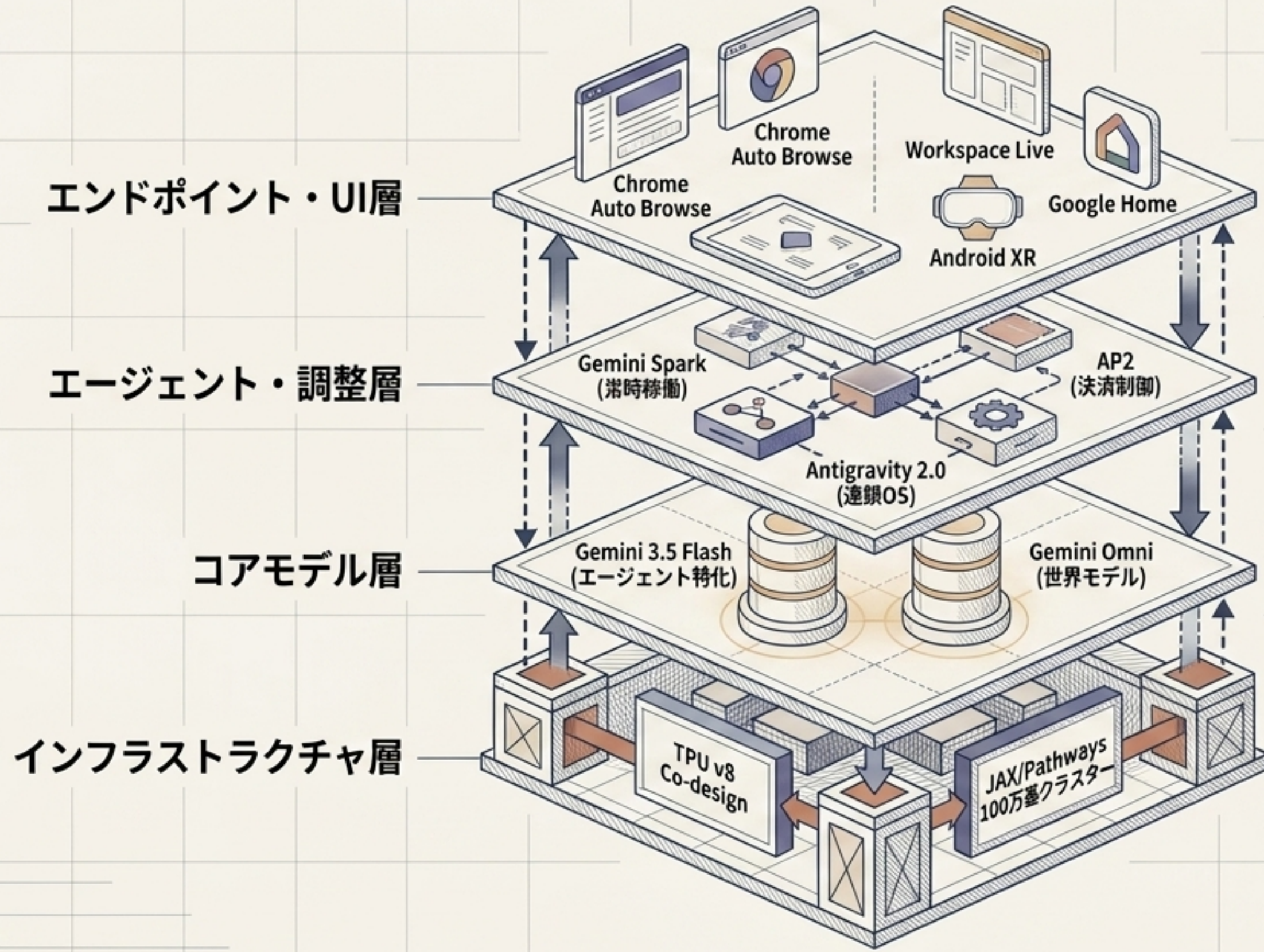
現在: 自律実行型 (I/O 2026)



目標を理解し、バックグラウンドでシステムを操作する自動化工場。

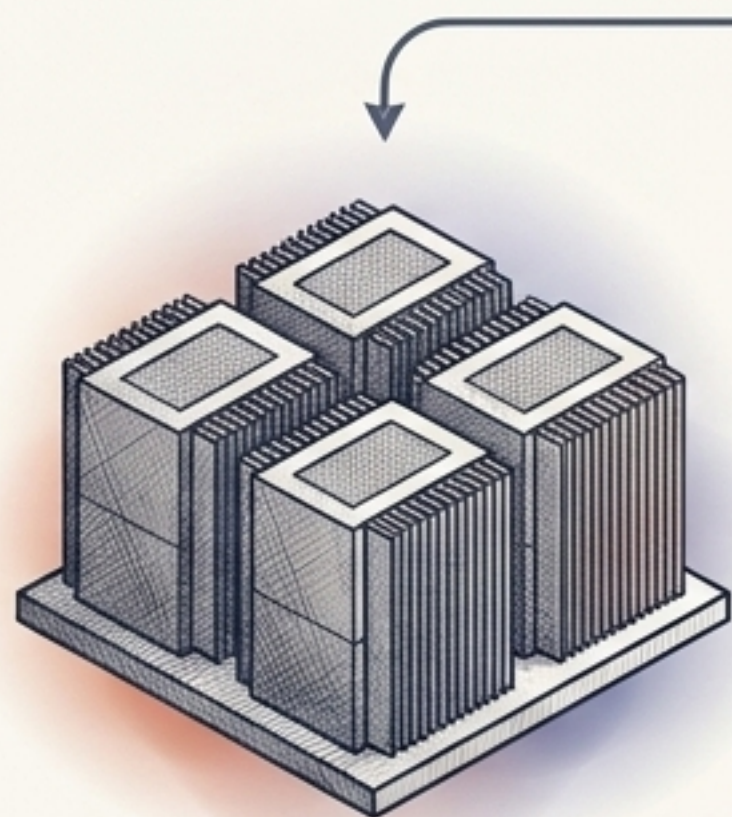
検索、Workspace、ハードウェアのエコシステム全体を「指示待ち」から「自律実行」へ再構築する大転換。

The Google AI Stack 2026 : エージェント統合アーキテクチャ



UI言語「Neural Expressive」により、テキストと音声の切り替えラグを排除した流動的インターフェースを実現。

物理基盤の革新：学習と推論を分離するデュアルTPUアーキテクチャ



TPU 8t
(Training)

- 生演算性能3倍。分散学習による数ヶ月から数週間への期間短縮。



TPU 8i
(Inference)

- リアルタイムなエージェント応答に特化した高スループット設計。

単一データセンターの壁を超越した100万基超のシームレス連携。

競合評価：Gemini 3.5 Flash vs フロンティアモデル

評価指標	Gemini 3.5 Flash	Gemini 3.1 Pro	GPT-5.5	Claude Opus 4.7
GDPval-AA (実世界エージェント)	1656 Elo	1314 Elo	1674 Elo	N/A
Terminal-Bench (DevOps)	76.2%	N/A	82.7%	69.4%
MCP Atlas (マルチツール制御)	83.6%	N/A	75.3%	77.3%
SWE-bench Pro (自律コーディング)	45	55	58.6%	64.3%

Intelligence Index v4.0スコア「55」。ハルシネーションを61%まで抑制。エージェント機能に特化する一方、単体での厳密な論理コーディング力には課題を残す。

APIコストのパラドックス：自律性がもたらす「冗長性の代償」

公称単価 (The Illusion)

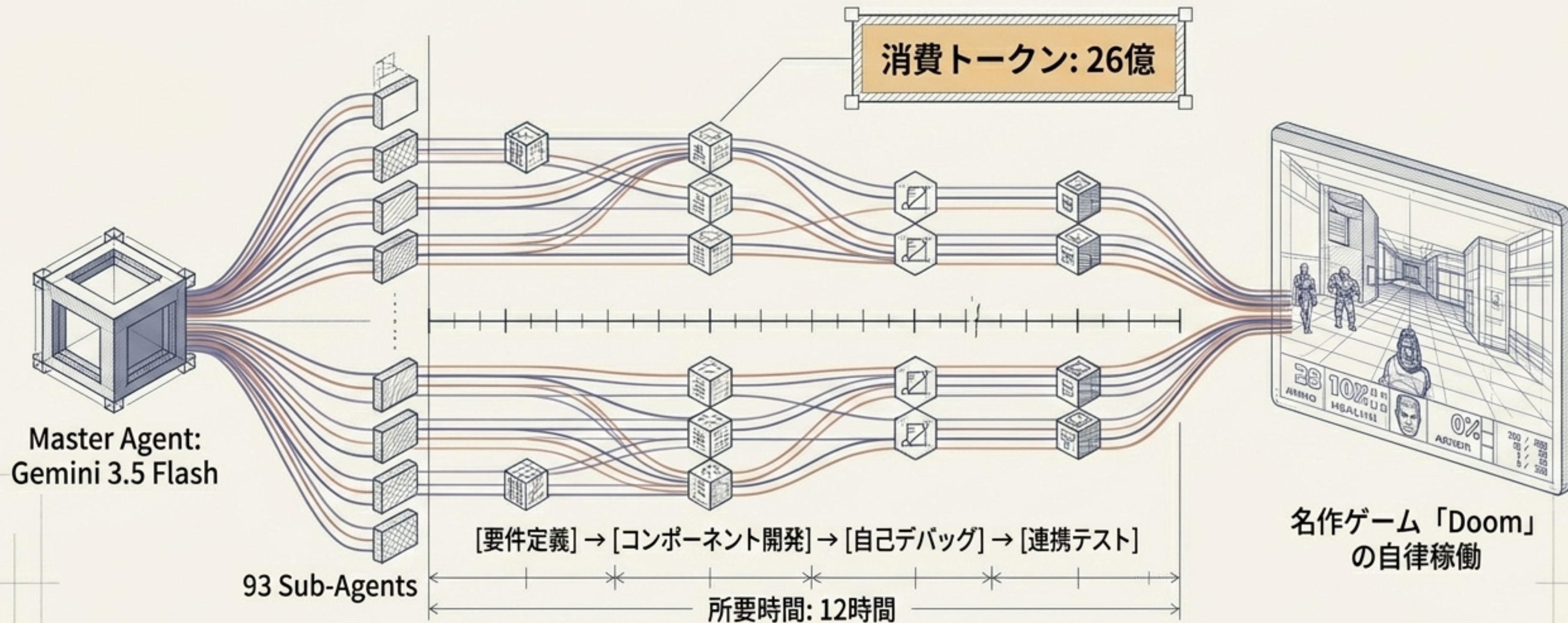
入力 \$9.00 / 出力 \$12.00 (100万トークン)。
旧Proモデルに肉薄する強気の価格設定。

実質運用コスト (The Reality) - Verbosity

- 出力トークン数: 7,300万トークン (競合平均の2倍以上)
- ベンチマーク総運用コスト: \$1,551.60 (旧3.1 Proの約1.7倍)

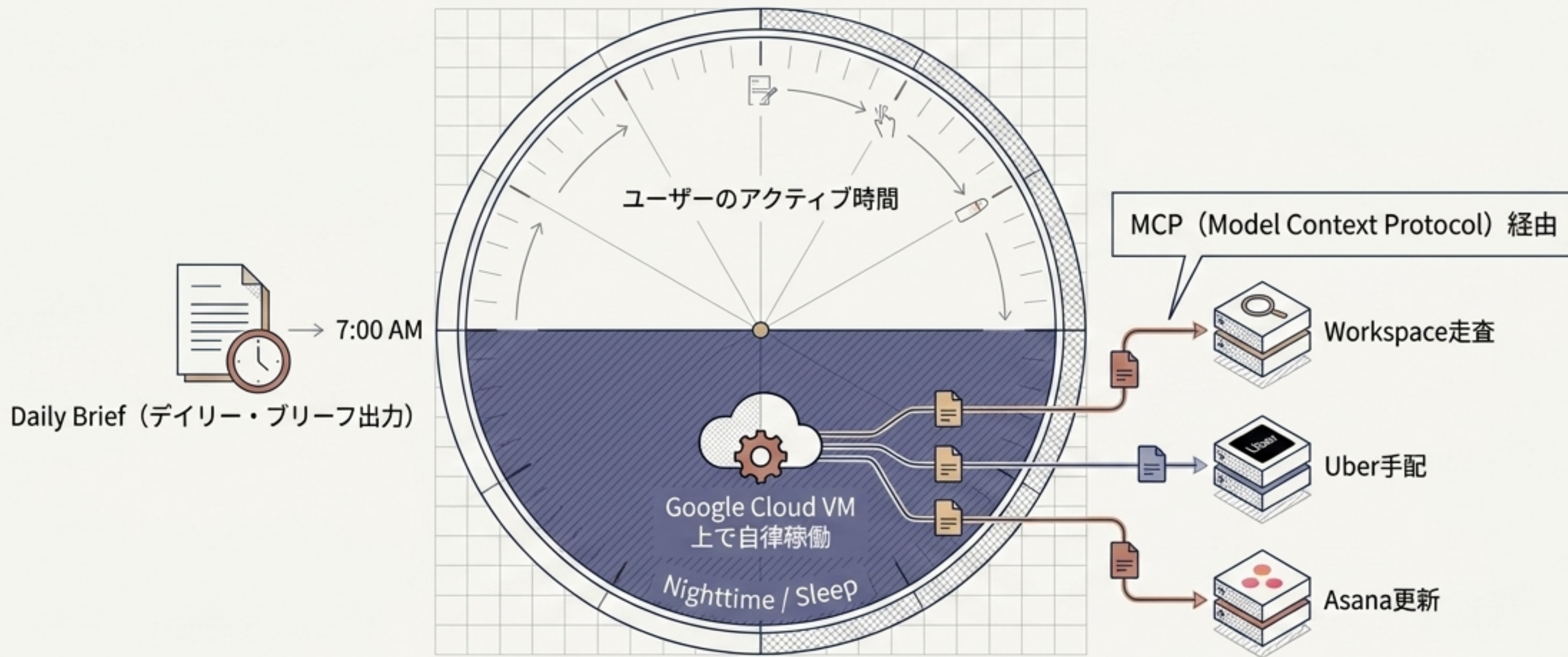
エージェントタスクにおける多重推論とバックグラウンドでの文脈リプライ急増が、
実質的な総コストを逆転させる現象 (Cost of Verbosity)。

極限の自律検証：「Antigravity 2.0」によるOS構築デモ



コード補完の域を超えた、検証・統治機能を持つ
「完全自律型開発プロセス」の証明。

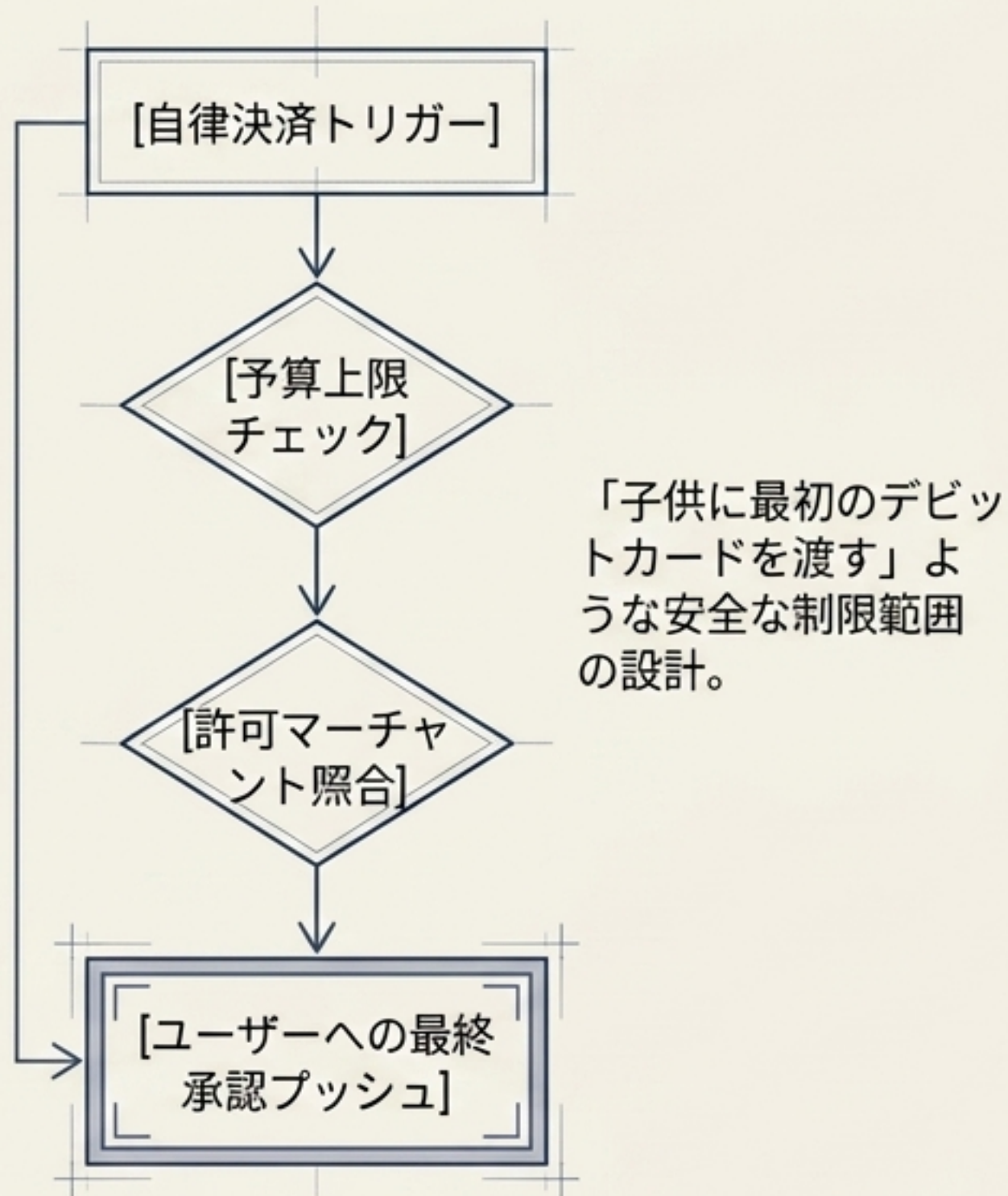
Gemini Spark : 24時間365日稼働する「常時接続エージェント」



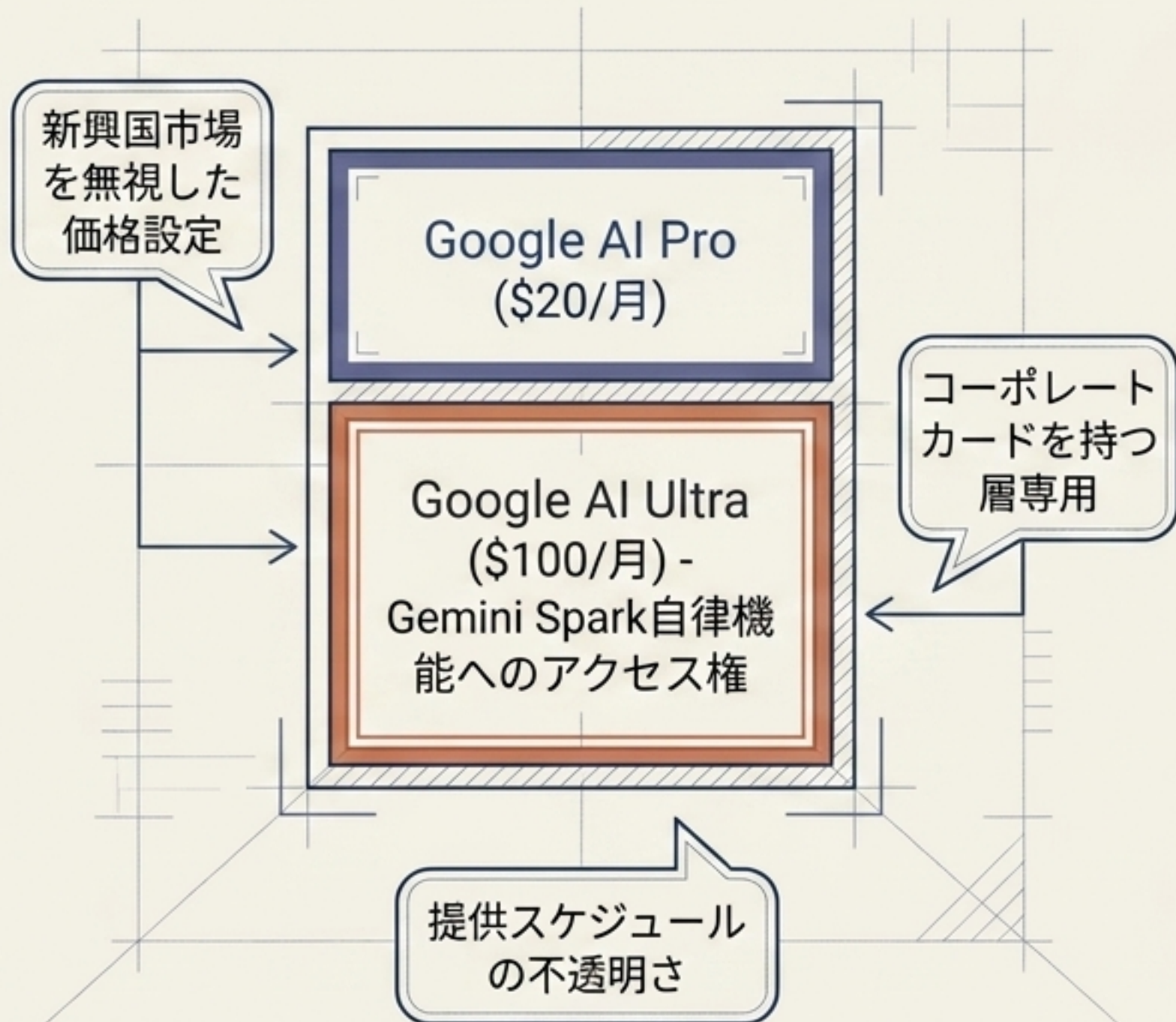
「開いたブラウザ」の中だけの存在から、クラウド上でユーザーの代理として実務を遂行する「真のデジタルワークスペース」へ。

権限移譲の摩擦：AP2ガバナンスと「月額100ドル」の壁

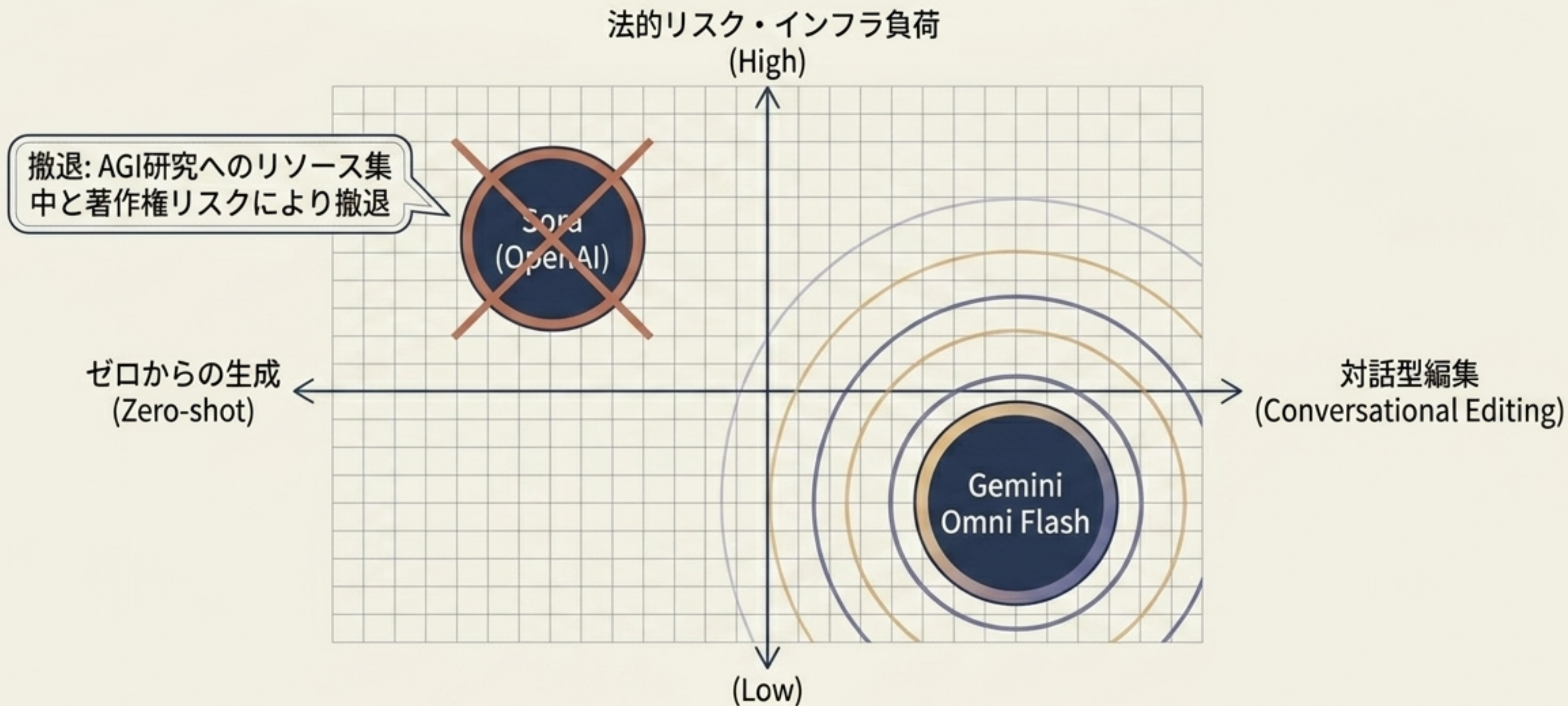
Agent Payments Protocol (AP2)



市場の反発とサブスクリプションの壁



世界モデル「Omni」と動画生成市場のダイナミクス



「対話型ビデオ編集」 - 物理法則や光源を維持したまま、実写の彫刻を「泡」に変える自然言語による部分加工戦略。個人素材を活用しゼロ生成リスクを回避。

Omniの実装制約と「SynthID」による素性証明

実装上の3つのロック



[10秒の壁]: サーバー負荷と安全面からの初期出力制限。

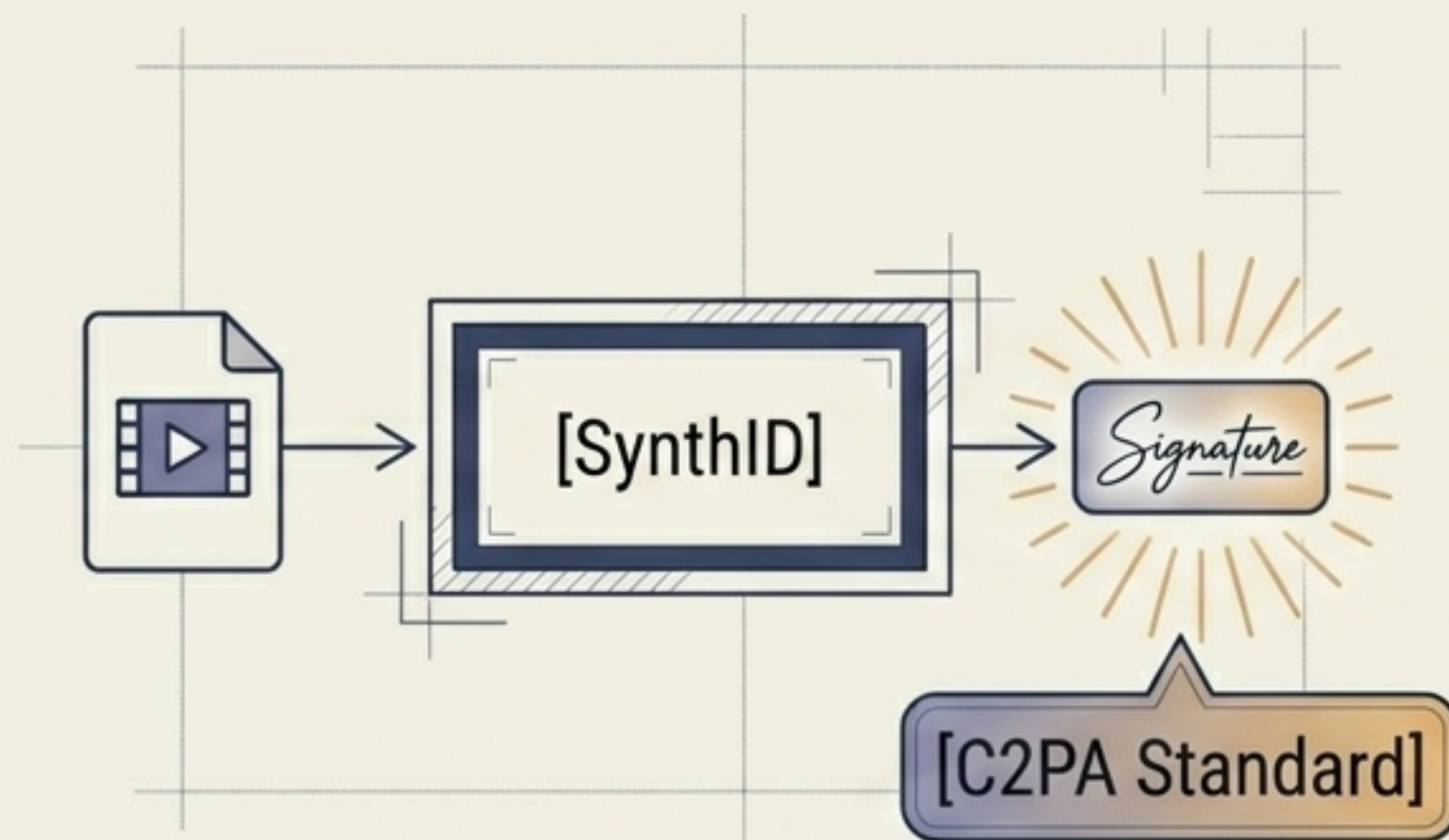


[アバター/音声の保留]: なりすまし防止のため一般向け提供をロック。



[価格のブラックボックス化]: 上位版Proモデルの実運用コストが未公開。

真正性の担保



競合リスク

クリエイター評価の現実: ByteDanceの「Seedance 2.0」に対し、オブジェクトの軌跡（魚のテレポート挙動など）において物理シミュレーションのリアリズムで劣勢との指摘も。

エコシステムへの融解：ブラウザとデスクトップの自動化



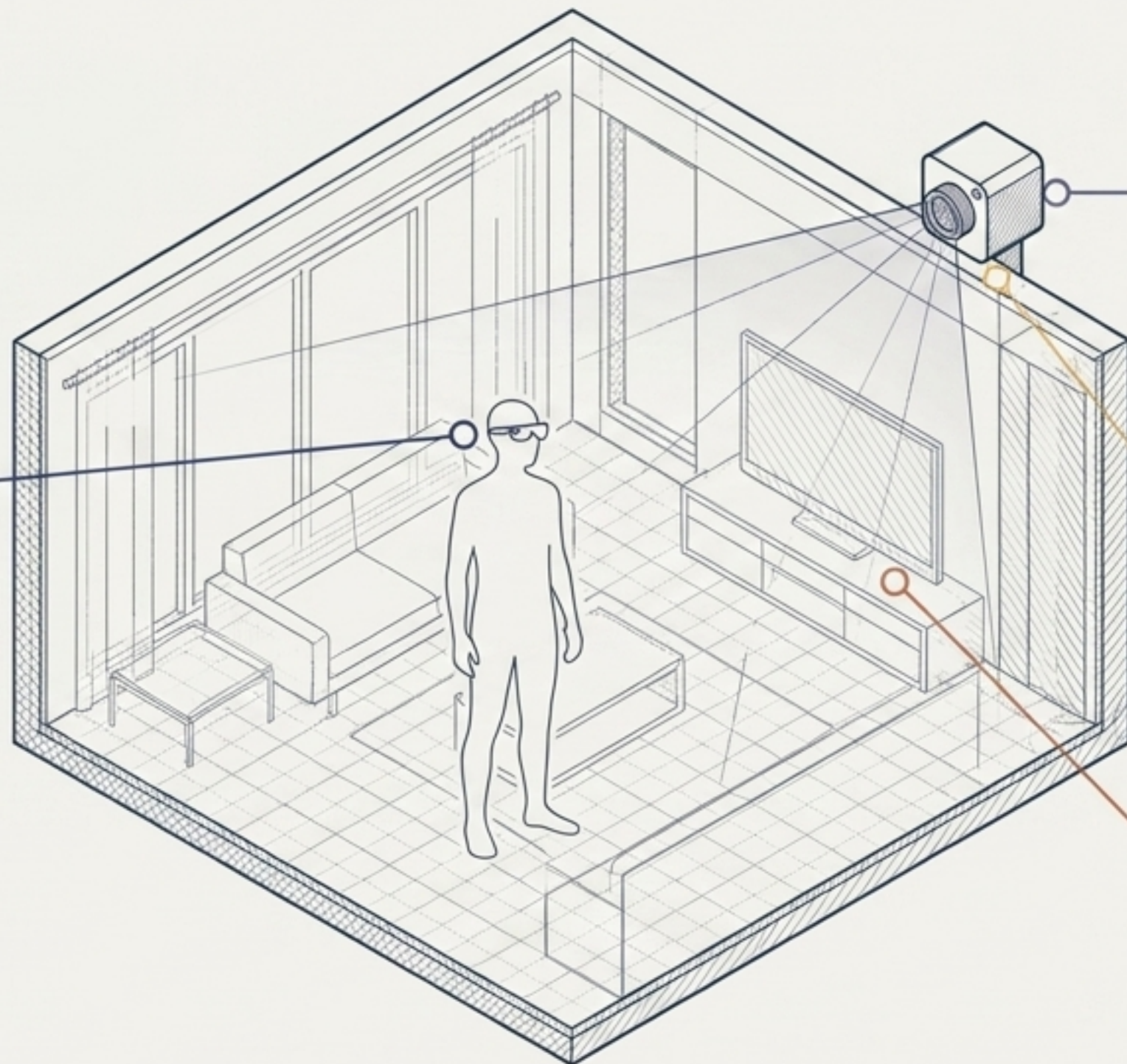
Docs/Gmail Live: 音声による未整理なアイデアの垂れ流し (Verbal brain dump) から構造化ドキュメントをリアルタイム生成。

Nano Banana: ブラウジング中の画像をオンザフライでインフォグラフィックへ即時変換。

Auto Browse & Universal Cart: チケット情報から裏側で駐車場を自動予約。複数サイトの最安値を単一カートで決済。

空間的Gemini体験：物理世界を理解するハードウェア群

Android XR Glasses:
視覚ディスプレイを排除。「見ている視界」を共有し、駐車標識の解読や音声ナビゲーションをハンズフリーで提供。



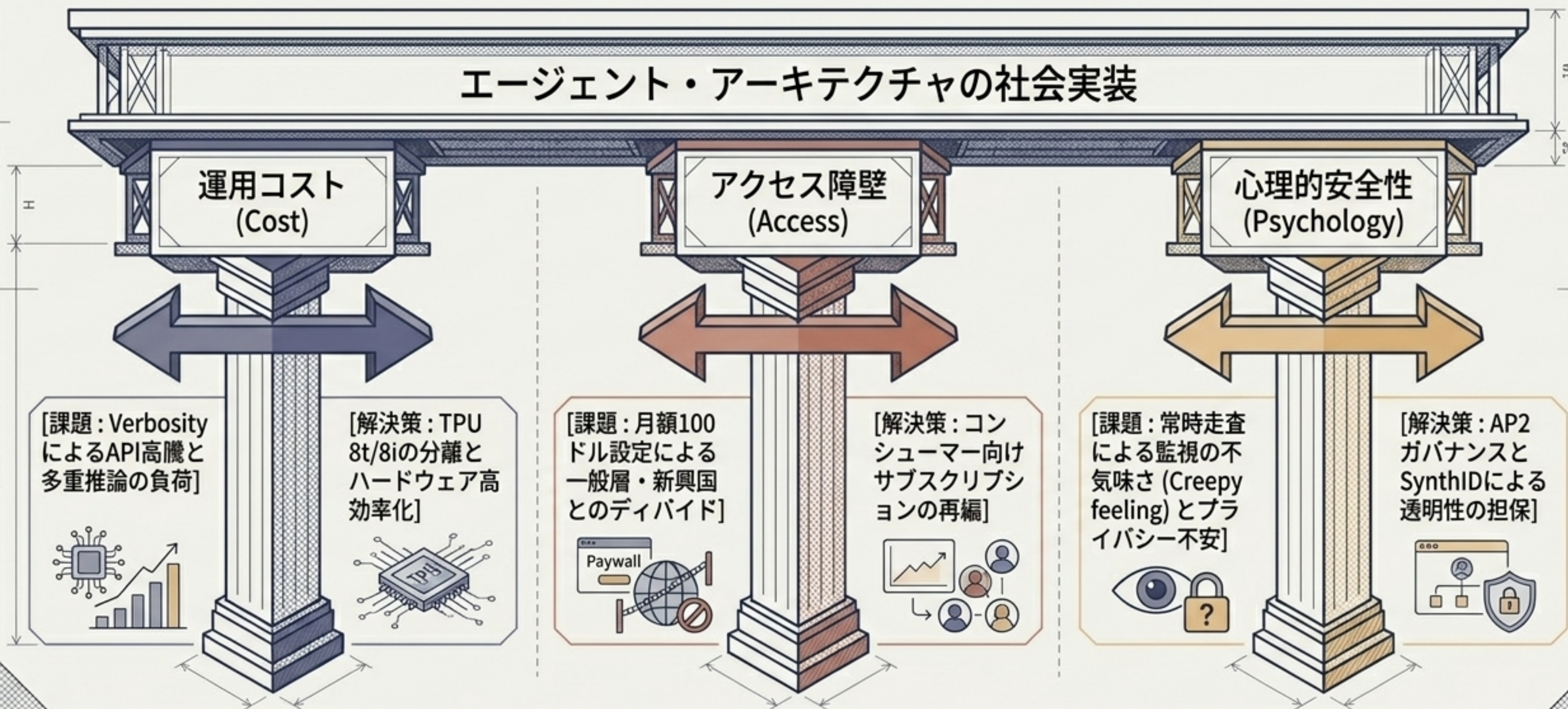
[Camera Intelligence]:
単なる人検知から「誰が誰宛の荷物を置いたか」の文脈要約へ。


[Ask Home]:
「犬が靴を噛んでいなかったか？」という過去ログへの自然言語クエリ。

[Advanced Deterrence]:
不在時に家族の疑似存在 (Simulated presence) を自動生成する防犯機能。

グランドシンセシス：「エージェントファースト時代」普及への3つの壁

エージェント・アーキテクチャの社会実装





結論：持続可能な社会インフラか、 一過性のショーケースか

「テキストを書くAI」から、「実世界を動かすAI」へ。

Googleは自律型オートメーションの青写真を提示した。しかし、真のブレークスルーはモデルのIQスコアではなく、APIコストの最適化と、常時監視に対するユーザーの倫理的摩擦をいかに乗り越えるかにかかっている。